

第11回SCAPARAワークショップ「特集 両生・爬虫類の飼育環境を考える」開催報告

爬虫類・両生類の臨床と病理のための研究会

The Society for Care and Pathology on Reptiles and Amphibians (SCAPARA)

日程: 2012年11月24日(土曜日) 10:00~17:30

懇親会 18:00~20:00

会場: 麻布大学 8号館 7階 「百周年記念ホール」(ポスター展示会場も同所)

11月24日(土)麻布大学において、第11回SCAPARAワークショップ「特集 両生・爬虫類の飼育環境を考える」が開催されました。

悪天にも関わらず、会員、一般、ボランティア等を合わせて123名の方にご参加いただきました。

当日発表された講演は、教育講演が7題、一般講演(口頭)が1題でした。講演の内容は以下の通りです。

講演後や総合討論時には、活発な質疑応答や意見交換が行われました。

1. 特集「両生・爬虫類の飼育環境を考える」

- | | |
|-------------------------|-------------------------------------|
| 1. 飼育環境要因と病気 | 小家山仁(レプタイルクリニック、院長) |
| 2. 爬虫類を長生きさせるための心得 飼育環境 | Richard C.Goris(横浜市立大学・医学部、客員教授) |
| 3. 動物園における爬虫類両生類の管理 | 本田直也(札幌市円山動物園) |
| 4. 昼行性トカゲの光を考える | 塩谷亮(日本ペット&アニマル専門学校、つくば国際ペット専門学校、講師) |
| 5. 両生類 温度、冬眠時の生理学的変化 | 松井久実(麻布大学・獣医学部・生理学第一研究室、講師) |
| 6. 床材とこれに関連する事故 | 鈴木哲也(すずき動物病院、院長) |
| 7. 飼育環境要因を考えるための生態 | 富田京一(肉食爬虫類研究所、代表) |

2. 一般演題

- | | |
|--|------------------------|
| 1. ウシガエル(<i>Rana catesbeiana</i>)幼生を対象としたカエルツボカビ検査法の比較 | 嘉手苅将(麻布大学・獣医学部・病理学研究室) |
|--|------------------------|



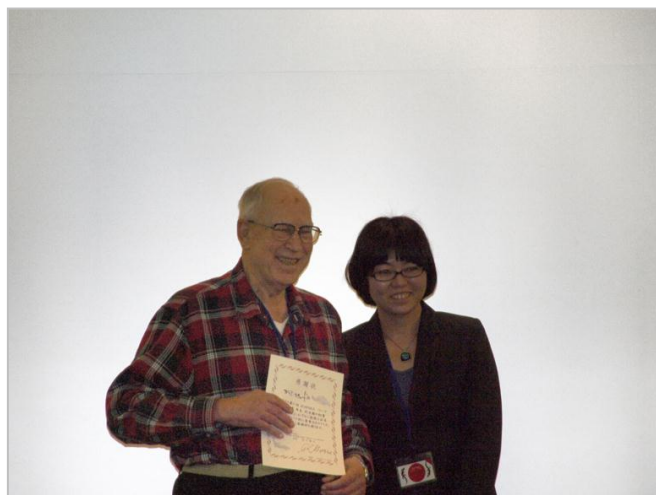
講演の様子

また、ポスター発表は16題あり、休憩時間やお昼休みを利用して多くの参加者がご覧になり、発表者との質疑応答や

意見交換も行われました。

一般発表ポスター		
No.	演題名	筆頭発表者
P-1	カメ類における卵殻構造の多様性	楠田 哲士(岐阜大学)
P-2	岐阜大学地区のミシシippアカミガメとクサガメの雄における血中テストステロン濃度と甲長および季節との関係	加古 智哉(岐阜大学)
P-3	咽頭チューブによる強制給餌を49日間行った ホウシャガメの1例	木戸 伸英(野毛山動物園)
P-4	チュニジアリクガメ(<i>Furunculachelys nabealensis</i>)の 糸球体線維症の1例	嘉手苅 将(麻布大学)
P-5	ニオイガメの皮膚膿瘍から分離された自由生活性線虫	松尾 加代子(岐阜県)
P-6	甲状腺癌を疑うフトアゴヒゲトカゲの1例	高見 義紀(パーツ動物病院)
P-7	ジムグリの繁殖	桐生 大輔(野毛山動物園)
P-8	オオアナコンダ(<i>Eunectes murinus</i>)幼蛇における 真菌および <i>Dermatophilus chelonae</i> の重複感染症の1例	渡部 智絵(麻布大学)
P-9	オオサンショウウオの内視鏡を用いた性別判定、2例	南 心司(安佐動物公園)
P-10	飼育下ハクバサンショウウオ <i>Hynobius hidamontanus</i> におけるラナウイルス感染症の流行	宇根 有美(麻布大学)
P-11	国内飼育下および輸入両生類における カエルツボカビ汚染状況	田向 健一(田園調布動物病院)
P-12	飼育下無尾類における黒色真菌症の集団発生事例	工藤 朝雄(麻布大学)
P-13	ツノガエル(<i>Ceratophrys</i> sp)にみられた 未分化胚細胞腫の1例	常住 直人(田園調布動物病院)
P-14	ニホンヒキガエル保全の道路工事の一例	桑原 一司(アンフィビアン・アーク)
P-15	動物園水族館でのアカハライモリ <i>Cynopus pyrrhogaster</i> の保全活動	荒井 寛(葛西臨海水族園)
P-16	2012年 沖縄本島北部 両生・爬虫類調査紀行	佐久間 聡

全ての講演と総合討論の後に、講演者やテキスト執筆者全員に対してゴリス・リチャード先生から感謝状が贈呈されました。また 18 時からは懇親会が行なわれ多くの参加者がありました。



感謝状の贈呈

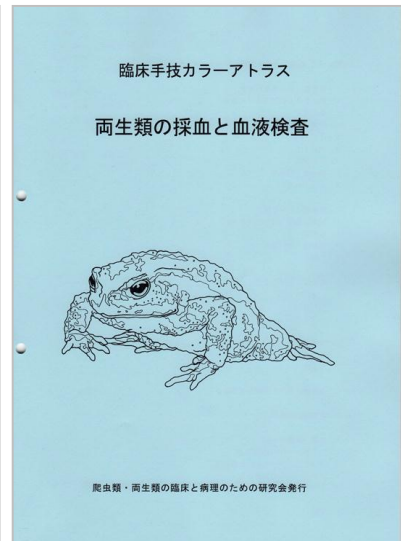
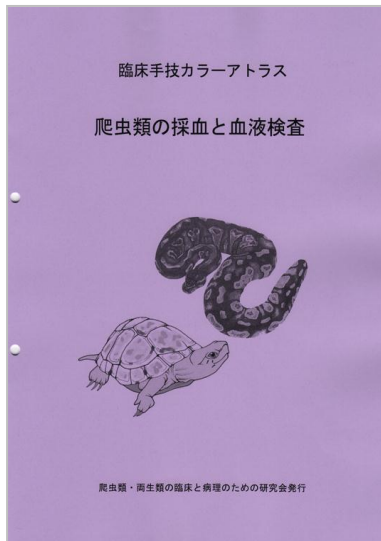
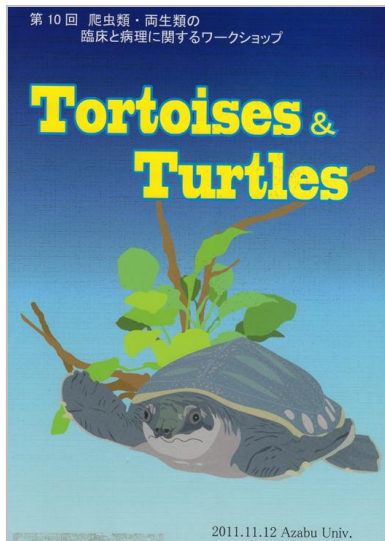
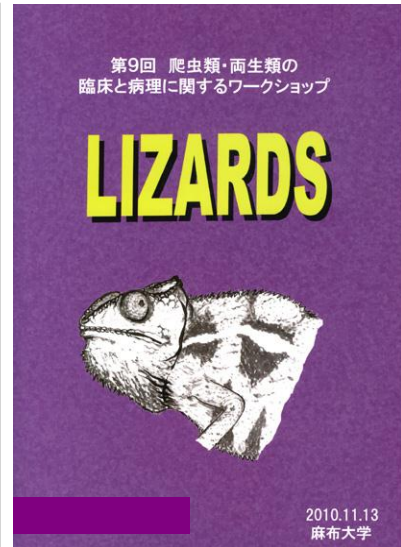
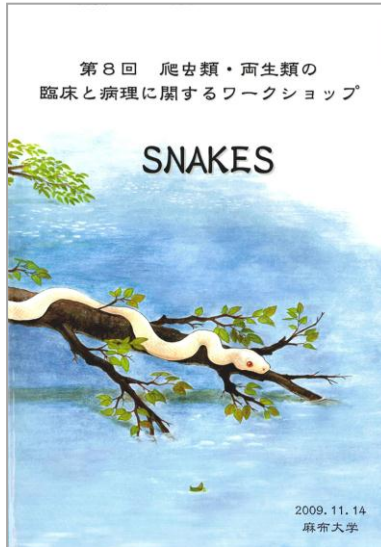
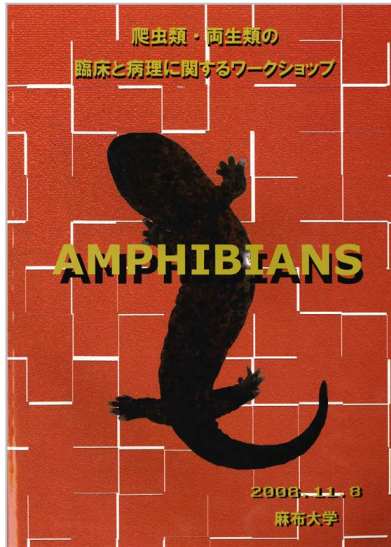
お知らせ

SCAPARA では、「臨床カラーアトラス」①両生類の採血と血液検査、②爬虫類の採血と血液検査を各 3000 円(2冊セットで 5000 円)で販売しています。

また、過去の SCAPARA ワークショップテキスト(両生類、ヘビ、トカゲ、カメ)を各 5000 円で販売しています。

購入を希望される方は、SCAPARA 事務局(v-path@azabu-u.ac.jp)までご連絡ください。

送料は基本的に 500 円ですが、テキストを 2 冊以上ご購入される場合、送料が変わる場合がございますので、ご了承ください。



爬虫類・両生類の臨床と病理のための研究会 事務局

〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71

麻布大学獣医学部病理学研究室内

SCAPARA 事務局 担当: 宇根有美、工藤朝雄

Tel & Fax: 042-769-1628

E-mail: v-path@azabu-u.ac.jp